

海東小学校だより

第28号 令和4年9月2日 宇城市立海東小学校



海東小学校
ホームページ

久しぶりの全校集会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、リモートによる集会を前期前半は行ってきましたが、久しぶりに感染症対策を講じながら体育館で前期後半スタートの集会を行いました。

体育館に入るところから静かに、そして、整然と並んで入る姿に、頼もしさと成長を感じました。

集会では、「学校は、楽しいことやうれしいことだけではありません。きついことやつらいこともあります。その経験をどのようにいかすかが大切です。自分自身を成長させるために『自分に厳しく、人には優しく』をよく考えて行動してほしい」ということを子供たちに話をしました。

先生方からも健康面等の話がありましたが、そのあとに、感想タイムを設けました。たくさんの子供たちが手を挙げるなど、主体的な姿にうれしく思いました。

前期後半も子供たちの㊦：可能性に挑戦する力、㊧：いつも考え工夫する力、㊨：友達とかかわる力、㊩：うまく表現する力の4つの力を、様々な教育活動をとおして、しっかり育てていきたいと思えます。



ご理解とご協力、ありがとうございました

水質検査の件では、大変ご心配をおかけしました。宇城市教育委員会の迅速な対応により、早期に再検査結果「適正」であることが分かりました。子供たちの水分補給についてもすぐに小川防災拠点センターよりペットボトルが運ばれ、廊下にジャグを置いて子供たちが飲める環境を整えたところです。また、保護者の皆様には、9月1日のお弁当のご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

8月30日～9月5日までは防災週間（9月1日：防災の日）ということもあり、非常食の給食も体験できました。「ピンチはチャンス」。子供たちにも話をしながら、各学級大事に味わいながら食べるなど、学びもできました。私も熊本地震で15日間の車中泊を経験し非常食を食べる日もありましたが、久しぶりの非常食に改めて給食のありがたさ・水のありがたさ・当たり前の日常のありがたさを痛感しました。



オンラインで
他校と夏休みの
思い出交流

2年生が8月30日にオンラインを活用して、リアルタイムで河江小学校の2年生と夏休みの思い出の感想交流を行いました。これまで考えられなかった新たな学びの姿が見えてきました。わくわくドキドキの子供たちでした。

